



都市と地域の人をつなぐ

里都(さと)プロジェクト

第五回・里都づくりフォーラム開催レポート

【開催日:2012年5月19日(土)】

都市と地域の人をつなぐ
里都プロジェクト

「里都(さと)プロジェクト」について

里都(さと)プロジェクトとは、
「都市」と「地域」との新しいつながり方・関わり方を、実践から学び、考えていくプロジェクトです。

「持続可能な幸せを感じる社会づくり」、重要なキーワードだと思います。
この新しい社会づくりのためには、「都市」と「地域」との新しい関係性を模索し、先行事例に学び、育んでいくことが重要ではないかと考えています。

そこで里都(さと)プロジェクトでは、
「様々な地域で、都市と地域をつなぐ活動を行っている方々」と、
「都市に住み、地域との縁をつくりたいと考える方々」との出会いの場をつくり、
お互いが学びあい、双方にとって新しい関係性を培うきっかけづくりに取り組んでいきたいと考えています。

都市生活者



都市と地域をつなぐ活動を行っている方々



地域生活者



【里都プロジェクト】

- ・コアメンバー: 大木浩士、有福英幸、濱谷玲子
- ・主な活動内容: ネットワークづくりフォーラムの企画運営、WEBサイト等による情報発信、地域体験ツアーの企画運営、など
- ・WEBサイト: <http://www.satopro.jp/>
- ・お問い合わせメールアドレス: info@satopro.jp

第5回・里都づくりフォーラム 開催概要

■ゲスト： 塩見直紀さん(京都府綾部市)

■開催日時： 2012年5月19日(土) 13:30~17:00ごろ (開場 13:00)

■開催場所： LIXIL・GINZA (住所:東京都中央区京橋3-6-18)

■参加者： 50名



=====
半農半X研究所 代表
半農半Xパブリッシング代表
=====

1965年4月、京都府綾部市生まれ。京都府綾部市在住。
大学卒業後、約10年、株式会社フェリシモに勤務、
33歳を機に綾部へUターン。
翌2000年、「半農半X研究所」を設立。
屋久島在住の作家・翻訳家・星川淳さんの
ライフスタイル「半農半著」にインスパイアされ、
21世紀の生き方、暮らし方として、
「半農半X(エックス=天職)」というコンセプトを提唱。

そのほか「NPO法人里山ねっと・あやべ」のスタッフとして、
綾部の可能性や21世紀の生き方、暮らし方としての
「里山的生活」を市内外に向けて発信、
綾部里山交流大学の企画担当もしている。
著書(共著)に『半農半Xという生き方』『半農半Xという生き方 実践編』
『綾部発 半農半Xな人生の歩き方88』
『半農半Xの種を播く』『土から平和へ』『本来農業宣言』『自給再考』など。
『半農半Xという生き方』は中国語訳され、台湾でも発売され、現在9刷。
また、半農半Xは中国大陸にも広がっている。

オープニング

参加者は46名。冒頭、「里都プロジェクト」発起人の大木から、「プロジェクト設立の背景」について説明をさせていただき、自己紹介の時間を設けました。



ゲスト:塩見直紀さんからのお話

第5回フォーラムのゲスト(里都ナビゲーター)、「半農半X研究所」代表 塩見直紀(しおみ なおき)さんよりお話をいただきました。



ゲスト:塩見直紀さんからのお話



・「半農半X」が生まれて、もう15年ほどが経ちます。「半農半X」は、持続可能な農ある小さな暮らしをベースに、天与の才を社会に活かす生き方・暮らし方のことです。
・もともとは自分の悩みを解決する言葉でした。1つは環境問題、もう1つは生きる意味についてです。

・ある方がこんな言葉を残しています。「あなたの悩みが地球を救う」。悩みを通して、社会に役立てることができます。
・私の原点となっている内村鑑三さんの言葉です。「我々は何をこの世に遺して逝こうか。金か、事業か、思想か」。
・環境問題に関心を持ち始めたころ、レスター・ブラウンさんの本を読み、農業にも関心を抱くようになりました。
・何かモノを言うためには、自分で汗をかく必要があるなと思いました。またある時、「自分を棚上げする思想は終わりだ」という言葉に出会いました。当事者になることの必要性を感じました。

- ・自分のXを探すため、いろいろな勉強をしました。そこで気づいたことは、「アイデアは、既存のもの組み合わせだ」ということです。
- ・自分には2つの「人生の締め切り」がありました。内村鑑三が言葉を残した「33歳」と母が亡くなった「42歳」です。締め切りがあったことで、急いで動くことができたように思います。
- ・環境問題が解決できにくいのは、締め切りがないからかも知れないなとも思います。
- ・20年前、「ソーシャルデザイン」という言葉に出会いました。自分がやりたいことは、この「ソーシャルデザインだな」と思いました。この言葉によって自分は変わったと思います。言葉は言霊になります。
- ・これまでは、嫌々仕事をし、「農」のない大きな暮らしを続けてきました。これからは、農のある小さな暮らし、そして天職を志向していければと考えています。
- ・綾部は、「綾部で生まれるものがたりの数」で競いたいと思います。
- ・「半農半X」はみんなのコンセプトです。独り占めするつもりはありません。皆で使って欲しいと思います。
- ・農作業には、紙とペンを持っていきます。農作業を行っている時、様々なインスピレーションを得ることができます。
- ・現在、私は3時に起床しています。朝の1時間は、昼の2時間に匹敵するといいます。この3時起きを、もう10年も続けています。
- ・「X」について、自分のXが分からない方も多いと思います。他人のよいところに気づける方は、他の人のXに光を当て、プロデュースすることも方法の1つだと思います。
- ・21世紀の加減乗除の法則。「加」:継続力、「減」:引き算の法則、「乗」:コラボ・共創、「除」:テーマ探求。
- ・今は、コツコツとやりながら急いでいけないう時期です。そんな難しい時代だと思います。
- ・アイデアを持っていたら、3年後や5年後ではなく、どんどん実現させて欲しいと思います。アイデアを実践すると、新しいアイデアが浮かんでくるようになります。

綾部市の風景



参加者同士の対話

「塩見さんのお話を聞いて印象に残ったこと」などについて、参加者同士で話し合いを行う時間を設けました。



自分の「X(天職)」を探すミニワーク

塩見さんが作成したワークシートを活用し、自分の「X(天職)」を探すミニワークを行いました。

好きなことで社会を変える！

Favorite and Slow Revolution

●ミニワーク① 「自分の型 (かた)」「自分のまち・むらの型」をつくる

下記のA～Cに、好きなことや得意なこと、気になるテーマ、人生のテーマなど、キーワードを自由に3つ記入してください。分母には活動舞台、好きなまち・むらなどフィールド名を書いてください。
例 (具体的な市町村、地域・集落名。明確でない場合は海沿いの静かなまち、山間の静かな村など)

A () × B () × C ()
活動舞台、フィールド ()

●ミニワーク② 「人生で叶えたいこと」

1回きりの人生です。叶えたいことを自由に書いてみてください。書いたことは実現が早まります！

2	3	4
1	Q 人生で叶えたいことは何ですか？ 8つ書いてください	5
8	7	6

2012年 月 日 記
名前 ()

※1年に1度 (年度始め、年末年始や立春、旧正月、新学期、誕生日頃など節目に)、自問を。

◎ミニワーク①・・・「自分の型」。

◎ミニワーク②・・・「人生で叶えたいこと」。



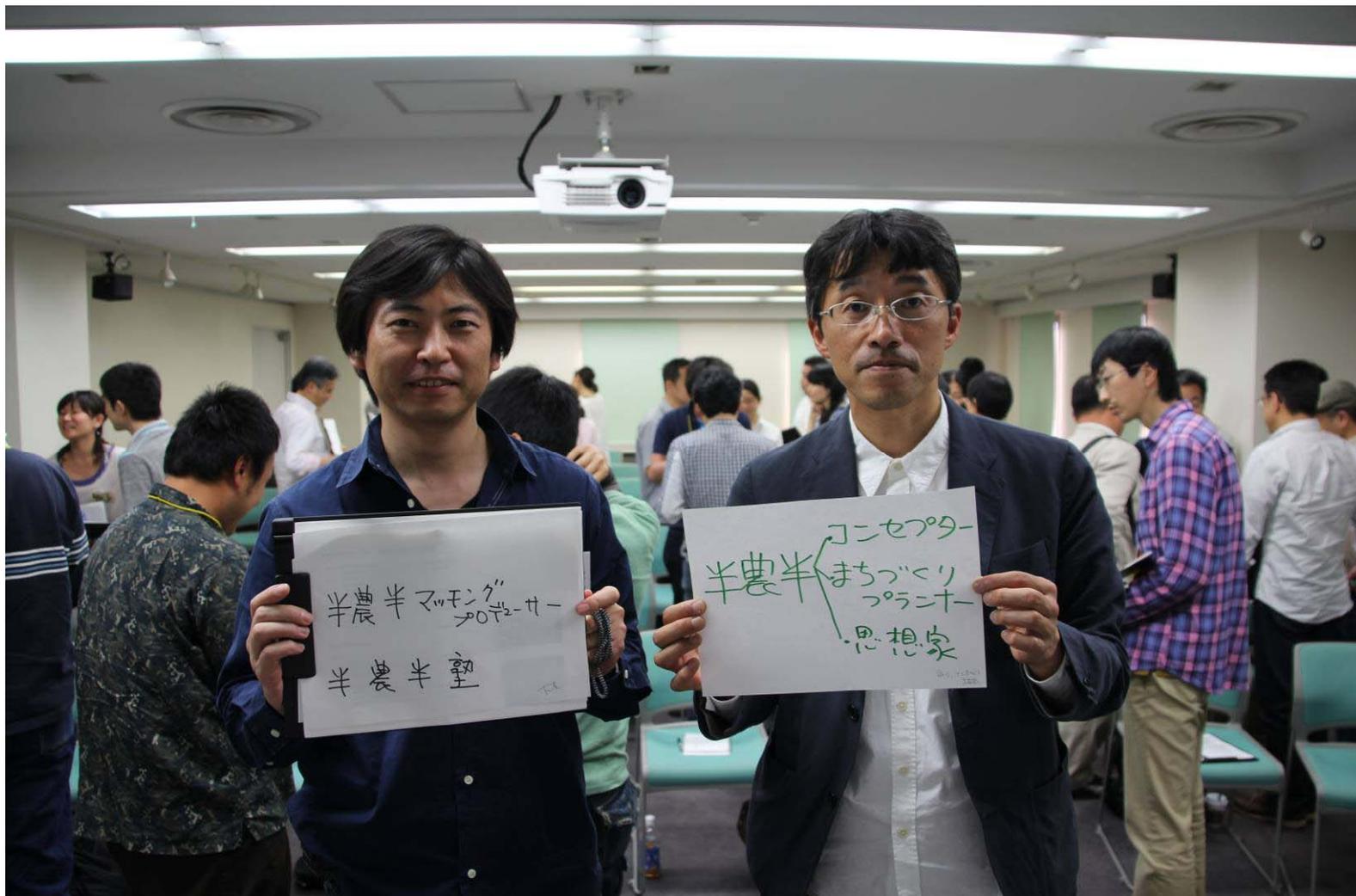
自分の「X(天職)」を探すミニワーク

自分の好きなことや夢について、参加者同士で共有する時間を設けました。皆さんの目は輝き、熱のこもったすごい時間でした。



自分なりの「半農半〇〇」を書く

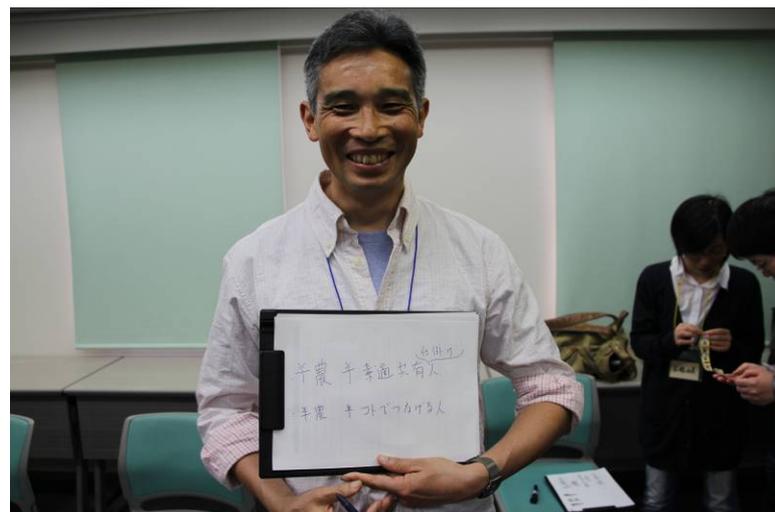
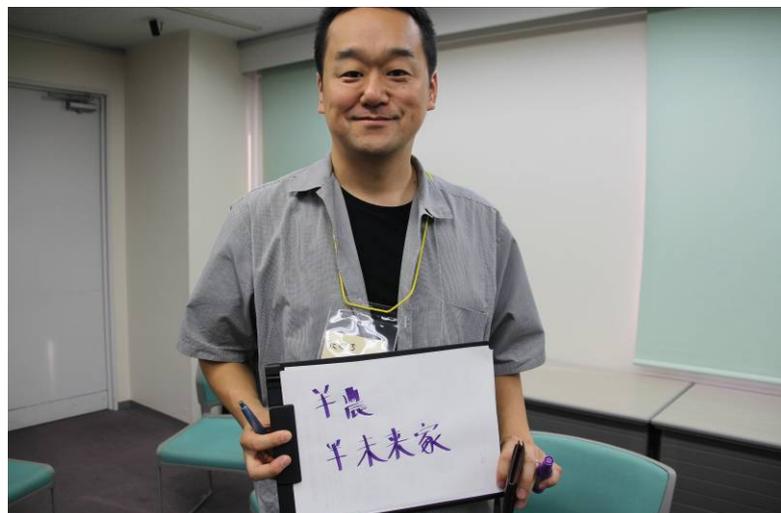
自分なりの「半農半〇〇」を書き、参加者の皆さんと共有しました。



自分なりの「半農半〇〇」を書く



自分なりの「半農半〇〇」を書く



懇親会

フォーラム開催後、塩見さんを交えて懇親会を開催しました。

